

今日はね。

vol.18

漫画です。  
エッセイ  
これは

# 突撃となりの お寺さん。

寺。

骨董市を  
見てまわった後  
時間があつたので

隣にあつた  
お寺にも  
足をのぼし  
ました！



敷地内には  
小さな神社も  
ありましたが

それよりも  
いたる所に  
販売物(?)が  
あることが  
印象的でした



それ以上に  
衝撃的だったのが  
コチラ

あつちに  
稲荷：  
こつちに  
本殿かな  
！？



# 梵字!?

建物が梵字で  
覆われとる！

宗教の気合を  
感じました。





七色が  
お好き？

梵字建物と  
その隣接の  
建物は中に  
入ることが  
出来ました

中は仏像を  
前にお祈り  
出来る  
スペースが  
あったり



他にも  
自身の病気と  
同じ部分に  
金箔を貼って  
治癒を願う  
像や…

小さめの  
仏像が  
たくさん  
並ぶスペースが  
ありました

像の前にはご利益の説明と  
賽銭箱が設置されてた。



中でも  
びつくりしたのは  
コチラ。

暗い部屋の中  
七色に照らされる  
ガラスの仏像群



以前別の  
仏教系建築に  
行った時も  
同じような演出が  
あったのですが

何故  
七色？  
好きなの  
かな？

謎が深まる。





# 賽銭箱 考察。

賽銭箱は至る所に置いてあり

神社のお賽銭とはまた違った印象だったのですが

そこまで悪印象ではありませんでした

最初はさすがにひいたけど、

仏像前にはだいたい賽銭箱がありました

丁寧に仏様とご利益の説明がされていました

交通安全  
無病言災  
水子供養  
etc

販売や寄付のお願ひももちろんですよ

この日は観光の人も多かったです  
熱心に祈る人の姿もありました

見る限りそれは真摯なもので

人の心を受け止めるという宗教の役割を見た気がしました

祈れる環境を提供するという意味でなら

あの箱の数も割と納得出来ました

場所とか考え方が含めてね

もちろんに気持ちとかは本当にダメだけど



そもそも神仏を頼る時って万策尽くした後だったりするわけで

神社・寺だけに限らね

出来ること全部やっても何かしたい気持ちにはあるわけだから

最後に何か出来る事として「祈る」というのは

そう悪いことでもないなと思います



お薬出しとき  
ますね。

咳が長く  
続くので  
病院へ。  
吸引薬と  
シロップ薬が  
処方され  
ました

のどが傷つきやす  
い  
体質へなんですよ

かんばって  
治しました

…はい。

先生すごい  
いい人なんだ。

シロップ薬は  
この病院では  
はじめで



薬も  
飲飲  
はじめての  
のタイプ

シロップ薬は  
この病院では  
はじめて

吸引薬も  
初めての  
タイプでした

見た目赤黒い。  
よくある感



がチャコメして  
吸飲する

小さい  
カップに  
計って  
飲む。



このシロップ薬  
ですが…  
飲んでみた  
ところ…

まっずい

です！

何というか  
甘さと苦さが  
振り切れて  
いて…

飲む時は毎回  
お茶を用意  
していました！

濃いっ！！

しかしコレが  
効いたのか

吸引薬が  
効いたのか

症状は  
目に見えて  
よくなりました  
ました！

薬すごいね！

周囲の反応

効いたねー  
見た目子供  
風邪薬みたい  
なのに！！

効きました

ねー！  
マズイだけ  
あったのかも！

咳へった  
もんねー！

先生

作家さん







不健康  
まっしぐら。

節約の為  
食費を削ってて  
気づいたことは

肉と魚が  
食卓から  
遠のいていくな...

という事でした



ものによって  
価格は色々  
ですが

うどん1玉と  
肉1パックでは  
価格の差は歴然



節約という事で  
そんな場合は  
当然安いものを  
選んで  
いたのです...

が。

徐々にその結果が  
体に出てきます。

何か妙に  
息切れ  
しやすい  
なあ...

ご飯食べるのも  
疲れる...

職場のご飯で  
お肉出てくると  
胃もたれしちゃう...

朝起きるの  
時間かかる  
なあ...

頭が  
はつきり  
しない...  
でも  
起きなきゃ...



あれ...?  
何か揺れてる?

ん...?  
違う...?

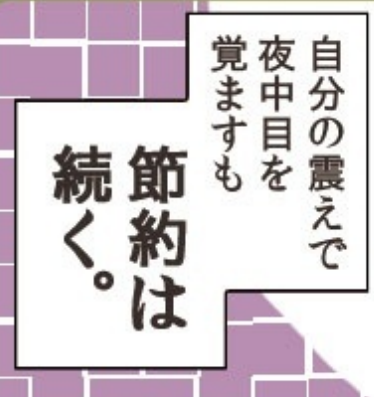
あ  
私がふるえて  
るんだコレ...

低血糖かな?



自分の震えで  
夜中目を  
覚ますも

節約は  
続く。





節約は続くよ  
どこまでも。

体に不調が  
表れるも

日頃から  
運動不足で  
不規則な生活  
だったので



そこまで原因が  
食事にあるとは思って  
ませんでした。

それ故に  
節約食生活は  
続いたわけです

何か風邪  
っぽいなあ...

痛い...

家に残ってる  
薬飲んどくか...

治らない  
なあ...

薬が合わな  
かったの  
かな? 別の飲ん  
でみるか...



一箱飲みきって  
みたけど  
完治しない  
なあ...

結局節約に  
なっていない  
ようない

でも今更  
病院行くのも  
嫌だしなあ...

今思えば  
この時食事の  
問題に気づくの  
べきでしたが...

その時の  
私の不調の  
すべてを

あ!

もしかして  
コレが噂の

年をとると  
風邪が治らな  
いってやつか!



なんか  
納得!!  
私毛  
ツーンか!!

年齢の  
せいにした。

アホか。



気づけ。  
とどまれ。

「卵はほぼ  
完全栄養食」  
と学んでいた私

朝食は  
うどんに卵が  
デフォルトと  
なっております



具らしい具は  
ありませんが  
麺類が好きなので  
苦ではありません

たまに  
キノコが入る。  
おまかにモ  
やさい

例の風邪は  
ぼんやりと  
続いて  
いましたが

仕事は何とか  
行っております

風邪もち込んで  
すみません…  
大丈夫かー？

職種が  
職種なので  
うつしてしまえば  
作家さんや  
スタッフさんへの  
感染

場合によっては  
芋づる式に  
他職場への感染も  
考えられます



か件もち  
アッさん多い。

人様にご迷惑を  
かけてしまい  
落ち込む中

ついにそれは  
表れます

仕事は何とか  
終えたけど…  
申し訳  
なかつたなあ…

反省…  
ん？

ん？  
口のなか何か  
ある…？

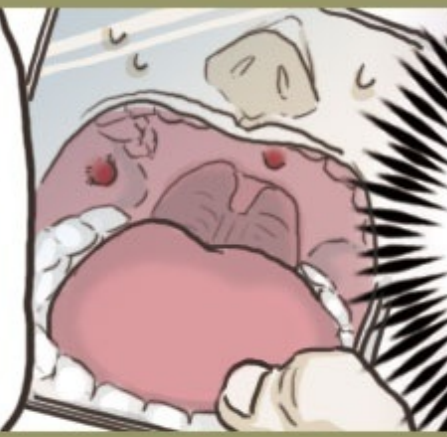
口内炎とは  
違うような…



血豆!?

口の中に  
血豆  
出来てる!!!

あ  
あ  
あ









# 先輩 クリニック

職種の為か  
雑談となると  
先ず上がるのは  
健康の話題です。

食物繊維は  
大事だけど  
それにも  
種類が  
あって

その両方を  
バランス  
よく…

先輩ほんと  
詳しい  
ですよ

アシスタントの  
先輩

スゴい。  
健康です。

その日も  
健康の話に  
なった際…

休日とか  
寝て終わっちゃい  
ますよねー

一回は仕事の  
時間で  
起きるけど…

食後  
休憩中。

ブルンって  
寝ちゃって  
起きると何か  
具合悪く  
なっていたりして…

それって  
どのくらい  
寝てるの？

作家さん

夜の七時  
ぐらいまで  
ですかね…

12時間ちょい  
ねてしまう。

七時!?  
それ  
寝過ぎ  
でしょ!?

起きる気は  
あるん  
ですけど…

何かこう  
頭がハッキリ  
しなくて…

休みだと  
いいかーって  
寝ちゃうん  
ですよー

そして頭痛に  
なるのよ。

あー…

それたぶん  
鉄不足だよ。

## 秒速診断

鉄分サプリを  
一度飲むことを  
オススメするよ。

よその職場で  
同じ症状の話を聞いた。  
たぶん鉄さく。





# 鉄分大切。

その後  
鉄分の多い食材を  
検索すると

久しく食して  
いないもの  
ばかりでした

おうおうー  
こりやー  
まずいわく…

レバー…ひじき  
貝類etc

観念して  
薬局とスーパーへ。

サプリ  
高いよう…

鉄だけの  
ないなあ…

鉄+葉酸？  
コレで  
いいのかな？

レバー…  
ほうれん草…

肉・魚  
野菜…

全体的に気弱な  
買い物完了。

その日の夕食は  
レバーとほうれん草の  
炒めもの  
だったのですが…

あれ!? 何か  
おいしい!

いつもより  
すごく美味しい  
気がする!

不足してるものって  
美味しく感じるのか!?

サプリも飲んで  
就寝しました。

# 翌日・起床

!?  
ズルズルした  
眠気がない!

すごいスッキリ  
起きた!

鉄分の  
大切さは  
本物でした。

肉・魚・野菜  
食べよう!



今日はね。 vol.18

<http://p.booklog.jp/book/99907>

著者：童

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hagurumawarashi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/99907>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/99907>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ